

## 令和6年度 第3回学校運営協議会 報告

### 1 目的

今年度の学校経営計画に基づいた指導成果に係る最終報告をおこなう。委員の方々から本校の学校運営に関する御意見等を頂戴し、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進するとともに学校活性化のための方策について共に考え、本校教育の充実・発展に寄与する。

### 2 日時

令和7年2月21日（金）10:00～11:30

### 3 場所

本校会議室

### 4 出席者

会 長	斎 藤 芳 里	様（二子町振興協議会専務）
副 会 長	佐 藤 満 義	様（北上工業クラブ会長）
委 員	八重樫 博 之	様（岩手県建設業協会北上支部長）
委 員	菅 原 浩 一	様（北上地区電気工事業協同組合理事長兼本校同窓会長）
委 員	菊 池 良 弥	様（北上市立上野中学校長）
委 員	菅 原 純	様（北上市立二子小学校長）
委 員	小 原 加奈枝	様（本校PTA会長）
委 員	後 藤 則 夫	様（本校前同窓会長）
	（ 高 橋 剛	委員（北上市商工部長）は所用により欠席 ）

#### 【本校職員】

校 長	村 上 智 芳
副 校 長	植 木 淳
副 校 長	尾 形 祐 一
事 務 長	佐 藤 秀 司
総務主任	阿 部 正 孝

### 5 次第及び内容（要旨）

#### （1）開会

#### （2）会長挨拶

今年度の本校生徒の学校生活や活躍を振り返り、更なる発展を遂げるための方策を委員の皆様からたくさん意見をいただき考えたい。

#### （3）学校長挨拶

本校では令和7年度入学者選抜より「いわて留学」募集を実施した。しかし志願者がいなかった。県外中学生へ本校を知ってもらう必要があるが、学校ホームページだけでは広報活動の難しさを感じていた。そこで北上市の御協力、御援助をいただき、（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム地域みらい留学様と連携し、県外（東京や大阪等）で開催される学校説明会の参加や学校広報活動の充実を図ることになった。

一次募集出願調整も終了し、志願者数が確定した（本日夜に報道される予定）。本地区の中学3年生の生徒数の減少により、区内高等学校の志願者数（倍率）は希望する数値ではな

いが、入学する生徒一人ひとりを大切にしたい教育を実践し、3年後に社会へ送り出したいと考えている。

「主体的で対話的な深い学び」の実践のひとつとして、国で募集する「DXハイスクール半導体重点枠」へ応募中である。本校が選ばれたときには、産学官が連携し、半導体関連産業への人材育成のために尽力したい。

部活動ではウインターカップに出場したバスケットボール部や全国選抜に出場した弓道部、陸上競技部、ボート部等の活躍が他部の刺激になっているに違いない。

#### (4) 議長選出

岩手県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則、第5条の2「会長は、会務を総理し、会議の議長となる」により斎藤会長を選出した。

#### (5) 協議

①学校経営計画に基づく重点目標等の達成状況【校長】

②各部取組状況及び反省事項【副校長、総務主任】

ア 総務部    イ 教務部                      ウ 生徒指導部                      エ 進路指導部  
オ 厚生部    カ 図書・視聴覚部                      キ 教育支援相談部                      ク 情報管理部

③学校評価に係るアンケート集計結果（保護者、生徒、職員）【副校長】

<意見・質問>

##### 【委員A】

②の説明の中で、秋に発生した「部室へのいたずら行為」に関する説明があった。近隣小中学校との共有は図られているのか。

##### 【副校長】

警察への情報提供、このことによる事情徴収、現場検証等の協力は行ったが、小中学校へ情報の提供はしてこなかった。地区高校への情報提供は行ってきた。

##### 【委員B】

②の説明の中で、今年度より本格的にはじまったBYOD（「一人1台パソコン」）の話があった。このことは全県で統一された実施なのか。

##### 【副校長】

そのとおりである。県立高等学校では個々が入学するときにパソコン（タブレット等を含む）を購入し、授業で活用することが推奨されている（入学手続き資料に同封）。経済的事由等により困難な場合は貸与用も準備している。本校の購入率は高くないのが現状である。

上記協議事項は原案のとおり承認された。

#### (6) 報告

①部活動等大会結果【副校長】

県新人大会以降の大会結果等についての報告

②進路決定状況【副校長】

3学年生徒の進路決定状況についての報告

③資格取得状況【副校長】

今年度の生徒の資格取得状況及び合格率についての報告

④その他【副校長】

「黒工我らの軌跡」

本校生徒が掲載された新聞等から生徒の活躍についての報告

(7) 委員の皆様から（提言、指導・助言等）

【委員A】

協議事項①で欠席率の話があった。高値の学年もあり残念である。全員が学校に足が向く生活を実践してほしい。そのための学校の方策、対応について聞きたい。

【副校長】

各学年、学級で対応することが軸と考える。欠席理由を明確にし、それぞれのケースにおいて対応していきたい。困難な場合は組織的（教育支援相談部、スクールカウンセラー、管理職等）な対応をしていきたい。

【委員B】

各生徒の欠席状況が企業等にも「見える化」が図られると良いのではないかと。企業との「ミスマッチ」の防止にもつながるものとする。

【委員C】

入学者選抜において志願者数が減少している。少子化によるものとするが残念である。

【校長】

生徒たちは一生懸命に学習や部活動に励んでいる。中学校時代は不登校だった生徒が皆勤で卒業した生徒もいる。本校を選んでくれた生徒たちを大切に育てたい。

【委員D】

志願者数減少への方策を考えなければならない。学科の再編や特色ある学科の新設等も考えてみてはどうか。

【委員E】

中学生の進路選択が以前より多岐である。このことが地元高校の志願者数減少につながっているかもしれない。

今夏に本校で県音楽教育研究会が開催され、準備の時から数回本校を訪問し授業参観し、生徒が熱心に授業に取り組んでいる様子が見られた。このことが学校評価に係るアンケート集計結果にも表れていて好感を持った。

【委員F】

小学校へのお出前授業で本校生徒の様子を見たが、高校生、小学生の双方とも笑顔が見られ好感を持った。感謝したい。

【委員G】

協議事項①で「授業が分かりやすい」と回答した生徒が高値だったとの説明があった。今年度、授業を参観する場面があったが、授業担当者が生徒に対し、明らかに見下しているような発言があり不快だった。先生方は自身が持っている「言葉の力」を自覚し、十分に配慮した生徒指導を展開してほしい。

P T A主催の挨拶運動に参加したが、参加者は自分だけだった。先生方には積極的なP T A活動の展開のための援助をお願いしたい。

(8) その他

本委員会では今年度の実質的な業務は終了となる。委員の皆様には本校発展のために御助言を頂戴したことに感謝したい。

(9) 閉会